

地域医療を考える会



ことことこと

発行：地域医療を考える会
住所：小林市細野300番地
電話：(0984) 22-3008

地域医療を考える学習会を開催しました。

8月19日（木）に、市立病院の大会議室で、地域医療を考える会は、第1回の学習会を開催しました。

講師は、市立病院の坪内院長を迎え、「市立病院の現況」という演題で、講話をしていただきました。

講話による提起

- 医師を確保するために、医師が赴任を望む環境を整備しました。
- 医療資源を有効に活用します。
- 行政と病院・市民が協働してよりよい地域医療を目指します。



■ 坪内先生の話を熱心に聞くメンバー

地域医療を考える学習会アンケートの集計結果

出席者数 市民62人 回答者数 40人



1. この学習会に参加され、どのような感想をお持ちでしょうか。（ひとつに○）

ア) とても勉強になった。	28人
イ) 勉強になった。	12人
ウ) 勉強にならなかった。	0人
エ) その他	0人
2. この学習会に参加され、市立病院問題への見方が変わりましたか。（ひとつに○）

ア) はい	40人
イ) いいえ	0人
3. 2. の質問で「はい」と答えられた方にお尋ねします。それはどのような点ですか。
(複数回答可)

ア) 医師不足などの状況	29人
イ) 医師の労働環境	28人
ウ) 中核病院としての市立病院の将来像	21人
エ) 住民として何かすべき	17人
オ) 行政の役割	10人
カ) その他	2人

・今までお医者さんが来て下さらないのも他人事だと思っていたましたが、自分達の事だと思って話を聞かせて貰いました。



■第4回定例地域医療を考える会の様子

4. 地域医療を考える会は住民の立場で出来ることをやっていく団体です。今後どのようなことを期待されますか。また、私もこんなことなら協力出来ると思われることがありましたらお書き下さい。(自由回答)

Cさん 早く中核病院としてやっていければと思います。

Dさん 市立病院の実情を住民の方に周知すべきだと感じました。

Iさん 病院従事者の意識を変えないと、市立病院は良くならないと思う。苦しい中、大変でしょうが、住民も協力して頑張って一致協力していく必要があります。市立病院も変わったなど市民が思えるような病院になってほしい。

Jさん しっかりと市立病院の状況を把握して、どう行動すべきかを深く考えさせられました。この状況を市民の方々に広く認識できる機会をたくさん作ってほしい。

Nさん 住民への働きかけが大事だと思います。現実の市立病院の状況が分かっていない人が多いと思います。

Qさん 中核病院としての市立病院の将来像をもっと理解して住民の方々に伝えていくことはやりたいと思います。

Sさん 先生も体に十分気をつけて頑張って下さい。主人は3年前山田先生の紹介により、鹿大で心臓手術（いぐろ先生）を受けました。おかげさまで元気です。

Tさん 先生方のご苦労に本当に感謝いたします。私共も反省し、自覚し、勉強していきたいと思います。一市民として、もっともっとこのことを広めていかなくてはと思いました。

いっしょに 地域医療について 考え、 より 安心して 健康に生活できるまちづくり をしていきませんか？

「地域医療を考える会」は、
多くのサポーター・会員を
募集します。

☆この会に興味をもってくださった方
☆フリーペーパー「てとてとて」をおいていただける方
☆行事に参加していただける方
☆講演会等の行事の呼びかけに、協力いただける方
☆定例会に参加いただける方 etc…

小児救急医療電話相談

短縮ダイヤル(携帯電話・プッシュ回線)

#8000

ダイヤル回線からは 0985-35-8855

相談時間 午前7時から午後11時まで

土・日、祝日のみの実施でしたが、4月1日から毎日実施になります。

夜間急病診療電話案内

平日夜間 午後7時から午後10時まで

23-8212

日曜・祝日は 午前9時から正午12時まで
(原則小児科)

診療対象者 急に具合の悪くなった方で、自力で
医療機関に行くことができる程度の症状(入院治
療を必要としない初期救急)の方